

だい ぶ かだい  
第5部 課題

だい かい  
第19回

まいにち にゅうりょく  
毎日パソコン入力コンクール

ぜんこくたいかい  
全国大会

か だい  
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん  
第5部 和文A 小学生低・中学年

かんりょうく  
ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

1. けいぎいいん しじ しょうし て ぶ  
競技委員の指示があるまで、この用紙に手を触れないでください。
2. けいぎいいん しじ けた さんかばんごう はんかくすうじ にゅうりょく  
競技委員の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. かだい にゅうりょく ぜんかくもじ かいぎょう じすう かぞ  
課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数え  
ます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんりょうく じてん もじすう じていど  
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,600字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりょく いんりょう ぶんしょう げんぶん と こ  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、ぎょうとう ぎょうまつ きんそくもじ く ばあい かだいぶんしょう  
行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりょくけんていいいんかい  
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしょう  
総務省


もんぶかがくしょう  
文部科学省


こうせいろうどうしょう  
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゆうりよく  
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


うでが上がる 


まえ じょうず  
前より上手になる。 

ひさしぶりに父ちちとサッカーをしたら、うでが上あがったな、とほめられた。 





こころ  
心にのこる 


つよ うえ あたま  
強いんしょうを受けて、頭からはなれない。わすれられない。 

そつぎょうしたあとも、先生せんせいの明あかるいわらい顔がおが心こころにのこっている。 





て  
おねに手をおく 


かんが  
よく考えること。 

おねに手てをおいて、これまでの生活せいかつをはんせいする。 




くち  
口がおもい 


かず すく はなし  
ことば数が少なくて、あまり話をしない。 

かれは口くちがおもいけれど、言うべきことはきちんと言える。 





したつづみをうつ 


おいしいものを、よくあじわうようす。 

はは てづく た  
母の手作りのケーキをしたつづみをうちながら食べる。 





くも  
雲をつかむ 


ものごと  
物事がはっきりしないで、ぼんやりしていてとらえどころがないようす。 

かれの話はなしは、雲くもをつかむような内容ないようが多く信じられない。 



で  
めが出る 

き くさ  
木や草がめばえる。しごとやはたらきが、せけん(せけん)にみとめられはじめる。 

サッカーのしあいで、やっとめでが出て、ゆうしょうした。 



穴あなのあくほど

目めもそらさず、じっと見みつめる。

弟おとうとはありのえさ運はこびのようすを、穴あなのあくほど見みている。



うわの空そら

心こころがうきたって、落おち着つかないようす。

明あ日すから夏なつ休やすみだというので、生せい徒とは先せん生せいの注ちゅう意いをうわの空そらで聞きいている。



手てをつくす

あらゆるしゅだん、ほうほうをこころみて、どりよくをする



病びょう気きのちりょうに手てをつくす。



いきが長ながい

一ひとつの仕し事ごとをあきることなく長ちよう期きにわたって続つづけているさま



いきの長ながいすぐれた芸げい術じゆつ活かつ動どうに對たいして、文ぶん化かくんしょうが贈おくられた。



実みを結むすぶ

努どりよく力りきしただけ、十じゅう分ぶんな結けつ果かがえられる。

毎まい日にちの練れん習しゅうが実みを結むすび、水すい泳えいの級きゅうがまた上あがった。



はらがすわる

どきょうがあり、びくびくしないでおちついている。心こころがおちついてびくもしない。

はらがすわっている兄あには、いつもぼくのたよりになる人ひとだ。



うでによりをかける

持もっているのうりよくを十じゅう分ぶんにだ出だそうとはりきる。

母ははのたんじょう日びには、父ちちと姉あねがうでによりをかけて料りょう理りを

つく  
作った。 ◀

◀

みみ  
耳をかたむける ◀

いっしょう  
一生けんめいに、ちゅういして聞こうとする。 ◀

あき よる むし ごえ みみ  
秋の夜は、虫のなき声に耳をかたむける。 ◀

◀

かお  
顔がそろう ◀

ひと  
あつまるとよていの人たちがみんなあつまると。 ◀

たの かい たの  
お楽しみ会は、いつもの顔がそろって楽しかった。 ◀

◀

せわをやく ◀

ひと ちから  
すすんで人のめんどろをみる。力をかす。 ◀

とも  
友だちのいもうとのせわをやく。 ◀

◀

ひざをのり出す ◀

こころ ひ すす じぶん  
あることに心を引かれる。また進んで自分からやろうとする

◀

いぬ はなし ちち だ はな  
犬の話になると父はすぐにひざをのり出して話してくれる。 ◀

◀

ひ ばな  
火花をちらす ◀

はげしくぶつかってあらそうこと。 ◀

いし だ もりやま ひ ばな  
石田さんと森山さんが火花をちらしてぎろんしている。 ◀

◀

ひゃく しょう ち  
百も承知 ◀

じゅうぶん  
十分すぎるほどわかっている。 ◀

と ざん か ふゆやま き けん ひゃく しょう ち  
どんな登山家でも冬山が危険なことは、百も承知だ。 ◀

◀

に あし  
二の足をふむ ◀

ためらって、どうしようかとまよう。ためらう。しりごみする。 ◀

いちどしっばいしたことには、どうしても、二の足をふんでしまう。 ◀

◀

あたま き  
頭が切れる

頭のめぐりが早く、てきばきとものごとをしよりするのうりよくがある。

かれは頭が切れるので、ぎちょうとしててきにんだ。

↓

ばつがわるい

その場のちょうしがわるい。きまりがわるい。

父にしかられているところをともだちに見られ、ばつがわるかった。

↓

みみ みず  
ね耳に水

思いがけないできごとが、とつぜん起きてびっくりするようす。

たんになの先生がとつぜんやめるなんて、まるでね耳に水だよ。

↓

くび なが  
首を長くする

まちどおしくおもうきもち。

りょこうの計画を立てて、首を長くして夏休みをまつ。

↓

め  
目をくばる

よく気をつけて、あちらこちらを見る。

おうだんするときは、前の方だけでなく四方に目をくばってわたる。

↓

いま いま  
今の今まで

「今まで」を強めた言い方。今のこのときまで。

歌に聞きほれて、後ろのせきにあなたがいたとは今の今まで気づかなかったよ。

↓

みず  
あせ水たらす

ろうくをいとわず、一生けんめいはたらく。

わたしの家は父母がわかいじだいから、あせ水たらしてともばたらきし、たてたものだ。